常置委員会・特別委員会活動報告

企画委員会

同窓会の諸課題について協議し改善策等をまとめるため、常置委員会正副委員長による合同委員会を7月に開催した。同窓会の活性化と事業の円滑な運営を図るため、今後も定期的な開催を予定している。

総会及び入会式の運営は、当番年次の協力を得ながら実施している。当番年次や講演者の年次を中心に総会への参加者が増えてきており、これを契機に同期・同窓の繋がりが深まることを期待している。

同窓会の基盤である年次・支部等同窓会との連携強化、卒業10周年・15周年同期会の開催支援など、組織活性化のための連携・支援を継続する。

教育振興基金を活用した母校支援として、昨年度は生徒を海外研修に派遣した。今年度も学校と協議し実施予定。

（委員長　佐藤 悦紹）

財政委員会

10月18日に財政委員会を開催した。初めに9月末日現在の平成28年度予算の執行状況について佐藤事務局長から中間報告を受けた。これに関連して年会費の納入状況と今年度から実施している金融機関口座振替の現状について話し合った。このうち年会費の口座振替を希望する会員は、今年度の新規申し込みを含めてこれまでに三百数十人にのぼっていることが分かった。

また、5年ごとに発行する会員名簿作成経費として毎年、一般会計に計上してきた名簿管理費の扱いについて協議した。その結果、来年度から名簿特別会計を復活させて、独立会計に戻すのが妥当という結論となり、次回運営委員会に諮ることになった。

今後も財政委員会は適正な予算の作成と執行に注力する姿勢を堅持する考えである。

（委員長　速水洋子）

名簿委員会

5年ごとに発行の名簿ですから、今年は、前回の発行から3年目となり、ちょうど谷間の年となります。逆に言えば、次号発行まであと2年で、発行準備を本格化する年となりました。

昨年度の年次名簿委員会は若年次活性化のため昭和50年以降を対象に開催しました。今年度は、次号発行に向け、名簿捕捉率向上を目指し、各支部・職域・年次とのさらなる連携を深めてまいりたいと思います。そのため、年次名簿委員会を従来型で開催いたします。

名簿第41号に向け、がんばってまいりますので、会員の皆様のいっそうのご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

なお、名簿第40号の残部を販売しておりましたが、お陰さまで完売いたしましたことをあわせてご報告いたします。（委員長　越中谷 孝一）

広報委員会

広報委員会は毎年5月と11月の年2回、「同窓会だより」の編集・発行を行っている。今年5月に発行した第99号では2月29日の同窓会入会式と翌日の卒業式の模様、高校野球100年を記念した甲子園球場での第1回大会再現試合で見せた母校矢留倶楽部の活躍の模様、平成28年度大学入試合格状況などを掲載した。

そして今号第100号は、同窓会だよりの軌跡をたどり、〝郷土創生〟を特集した。提言、ズームアップ、エッセイ、スクールトピックスなど毎回、取り上げるコンテンツの充実とともに、不断の情報収集、編集作業には少なからず苦労が伴うが、それを上回る新鮮な発見と出会える楽しみも待ち受けている。広報委員に関心をお持ちの方は、経験の有無を問わないので是非事務局までご連絡ください。

（委員長　石井 仁）

ホームページ委員会

今年の主な実績として、同窓生の活動発信を目的としたバナー広告の本格運用を開始しました。掲載料を年間1万円、同窓会だよりとセットの場合5千円としております。ご希望の方は事務局までお問い合わせください。また、広報委員会と連携を図り、同窓会だよりに掲載できなかった総会講演や入会式激励の言葉の要旨をホームページにて紹介しております。さらに高校で毎月発行している学校概要を掲載することで、部活動の最新情報などが閲覧できるようになりました。

現在、同窓会だより100号を記念して、これまでの同窓会だより（1号～70号）をPDF化、ホームページにて閲覧できるように準備を進めております。今後は、若年次の参加・アクセス向上を目指し、ホームページ機能の拡充をさらに検討していきます。

（委員長　武内伸文）

150周年記念誌編集準備特別委員会

2023年発行予定の創立150周年記念誌の編集準備を進めている。前半の『秋高百年史』のリライトは、削除項目の検討や一貫性を意識した再構成等に関する議論を終えた。

現在は、表記の統一作業に入っている段階だ。2016年度内の完成を目指して、月1回に近いペースで委員会を開催している。